

三重短大	橋本貴美子
名古屋女大	○柘原きみゑ
岐阜女短大	山田 令子
淑徳短大	土田 正子

1. ユニホームには特にその機能性が要求される。近時生産能率向上のためいずれの職場においても作業環境の整備、労働状態の改善が行なわれており、被服の面でも種々の研究が行なわれている。私たちは実態調査を行なった職場のユニホームについて各方面より考察し、その実態を知ると共に、機能的なユニホームの構成はいかにあるべきかを研究することを目的とした。

2. 各職場のユニホームの実物を計測することにより、各部寸法、大、中、小の段階別寸法などをまず調査し、次にユニホーム寸法と体格との適合性、着ごこちとの関係および動作に対する適応性について、実態調査の回答にもとづき、着用者が「よい」あるいは「小さい」などと答えている寸法についての検討を行なうと共に、実物の着用実験、人間工学的研究資料にもとづき、ユニホームとしての適当な寸法についての検討を行なった。縫製方法については実物を調査し、破れやすい部分に対する回答との関係について考察した。

3. 寸法の調査において、大、中、小の寸法が各会社まちまちであり、寸法設定上不合理な点が多いことを知った。しかしユニホーム寸法と体格の適合性、着ごこちとの関係、動作に対する適応性については、「よい」という回答が多かった。縫製について実物調査した結果も問題になる点があり、機能的なユニホームを構成するためには更に各方面からの研究が必要であることが明らかになった。